

青年研修 「ミャンマー/都市環境管理」

対象国：ミャンマー

受入人数：15名

受入期間：2019年1月23日～2019年2月9日



出典：外務省ホームページ

タイや中国など5カ国と国境を接するミャンマーは多くの少数民族が住む国です。近年、経済成長が急速に進んでいるミャンマーですが、一方でその発展がもたらす環境への影響という問題に直面しています。また、環境に対する住民の意識も低く、家庭から出されるゴミの分別やマナーについても大きな課題となっています。

これらの課題を解決するため、「環境モデル都市」である帯広市を参考に、家庭、企業や団体から出される廃棄物や排水の処理や安心・安全な水道がどのようにして管理・運営されているかを学びました。

また、帯広市の都市計画、「帯広の森」の利活用について知り、ミャンマーの都市環境を整えるには...と考えながらミャンマーの研修員は多くの視察を行いました。

日本では広く共有されている「街をキレイに」、「環境を守ろう」という気持ちを理解しようと研修員は帯広市で行われている環境教育を研修期間中に実体験し、自国でも活用できる方法を模索していました。



家庭から出るごみの収集車や収集方法について視察しました。



帯広市が行う環境教育を体験し、「かるた」を使って環境保全を知ることができました。



帯広の森の成り立ちや歴史、現在行われている育樹について学習しました。



産業廃棄物を資源として活用する事例を知ることができました。